

令和8年度

教育行政執行方針

令和 8 年 3 月

当別町教育委員会

令和 8 年第 1 回当別町議会定例会の開会にあたり、教育行政の執行に関する基本方針、並びに令和 8 年度予算に基づく主な施策について申し上げます。

【はじめに】

明治 4 年、困難な開拓のさなかにあっても「教育のことは 1 日もゆるがせにできない」と私塾を開いた鮎田如牛の志は、当別町の教育の礎となり、今日まで脈々と受け継がれてまいりました。

子どもたちの未来を拓く学校教育はもとより、町民一人ひとりが生涯にわたって学び続け、豊かな情操と創造性を育む社会教育もまた、この町の大切な文化であります。

令和 8 年度は、『未来を拓く 9 年間』当別町小中一貫教育』の理念を深化させるとともに、当別町の歴史と伝統を礎に、家庭・学校・地域が手を携え、すべての町民が学ぶ喜びを感じられる教育行政を推進してまいります。

これより、新年度における具体的な施策についてご説明いたします。

【施策の展開】

1 学習指導

学習指導については、「確かな学力の定着と生きる力の育成」を目指し、教職員研修の充実や教材・教具等の指導環境の整備により「教師の質を高める日常実践の充実」を図り、多様な子どもたちの資質や能力を育成する授業づくりを推進します。

また、本町の独自教科である「とうべつ未来学」の充実を図り、教科の枠を超えた探究活動を推進することで、子どもたちの感性を磨き、未来を創造する

力を育む教育の充実に努めてまいります。

2 生徒指導

生徒指導については、校内・外に設置した教育支援センターやメタバースの活用など多様な学びの機会を確保した不登校対策の推進、ICTを活用したいじめの未然防止・早期解決に向けた指導体制の充実、家庭・学校・関係機関等をつなぐ様々な支援員の配置など、これまで培ってきた指導・支援体制をさらに深化させることで「子どもの安心・安全を確保する学校風土の醸成」を図ります。

3 地域と共にある学校

地域と共にある学校については、社会教育と連携した「学力・体力向上に向けた家庭・地域との連携・協力」や、令和9年度内の完全実施に向けた「部活動地域展開」の取り組みを通じて、地域の力を学校に、学校の力を地域に循環させ、「全ての子どもの育成を支える環境づくり」を進めます。

また、姉妹都市である大崎市へ中学生を派遣し、姉妹都市との交流を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育む「ふるさと教育」の充実に努めます。

学校給食では、国が進める小学生の学校給食無償化に加え、町独自で中学生の学校給食無償化を実施し、「子育て・教育環境の一層の充実」を図ります。

合わせて、食材等の物価高騰が続くなか、学校給食栄養摂取基準を満たし、安心・安全な学校給食を維持していくため、材料費の補填を行います。

また、地元食材の恵みを活かし、姉妹都市の味覚を届ける「とべっこランチ」を継続することで、食を通じた学びと絆を子どもたちの心に刻んでまいります。

4 生涯学習の推進

町の将来を担う子どもたちの健全育成を図るため、少年の意見発表会や小中高大生TOWNミーティングを継続し、若い世代の声に耳を傾け、安心して意見を表明することのできる環境づくりに努めます。

また、子ども会育成連合会と連携し、社会性や協調性を養うとともに将来のリーダー育成にもつながるキャンプ事業など、体験活動プログラムを実施してまいります。

高齢者の学習機会の提供と社会参加を進める生涯学習プログラムとして、北海道医療大学と連携した町民向け講座を実施し、町民一人ひとりが主体的に学ぶことのできる場の創出に努めてまいります。

読書活動推進の拠点である図書館では、本や図書館に親しむイベントを継続的に実施するとともに、セルフ貸出に対応した図書管理システムに更新し、利用者に対するサービスの充実を図り、町民の読書活動をさらに推進します。

5 文化・芸術・スポーツの推進

文化・芸術活動においては、文化公演事業の開催や文化協会の活動支援などを通じて、より多くの町民に、文化・芸術活動が身近に感じていただけるような事業として、札幌交響楽団による演奏会や桂宮治氏を招いた落語会などを

行ってまいります。

スポーツ活動においては、町内で活動する総合型地域スポーツクラブが中心となり、中学校の部活動を地域クラブへと展開し、地域と学校が一体となって、持続可能な子どもたちのスポーツ環境の整備と次世代の指導者育成に取り組んでまいります。

6 歴史伝承と郷土愛の醸成

当別の歴史について理解を深め、郷土のすばらしさを感じ、郷土を愛し誇りに思う気持ちを醸成できるよう、古文書の解析を中心とした講座を開催するなど、町民の歴史学習の機会の創出に努めます。

また、これまで進めてきた歴史研究の成果と当別の歴史認識を未来に継承していくため、歴史資料集の編さんに取り組んでまいります。

7 地域の教育力の向上

町の未来を担う子どもたちの活動を支える地域ボランティアや地域指導者の活躍の場が広がるよう、学校や子どもたちのニーズをしっかりと捉え、地域人材の育成とマッチングを進め、地域の教育力向上につなげます。

8 施設整備等

最後に施設の整備についてです。

学校施設では、「西当別小学校及び西当別中学校 LED 照明化事業」、

社会教育施設では、「総合体育館キュービクル更新事業」や「伊達記念館屋根改修事業」を実施してまいります。

また、老朽化が進む教育施設全般について、今後の方向性を検討するために、専門的な知見による現状把握や改修が必要な個所の調査を実施します。

【おわりに】

以上、新年度の教育予算編成の概要についてご説明申し上げました。

『未来を拓く9年間』当別町小中一貫教育の理念のもと、学校教育と社会教育が手を携え、すべての町民が生涯にわたって学び、成長し続けられる当別町を目指してまいります。

町民の皆様、議員各位のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。